序　　文

このたび徳島大学蔵本キャンパスで実施された埋蔵文化財発掘調査の報告書第1巻が刊行されることになった。今回報告されるのは、主に医学部同窓会館「青藍会館」地点、長井記念ホール地点、医療技術短期大学部校舎増築地点、酵素科学研究センター（現分子酵素学研究センター）地点の４地点における調査結果である。埋蔵文化財調査室や施設部をはじめ、種々の形でこれらの調査および報告書作成に関係された方々に心から御礼申しあげる。

青藍会館地点の調査では弥生時代前期の集団墓地が発見され、医療技術短期大学部地点の調査では同じく弥生時代前期の河道が発見された。その河底からは日本列島最古の腰掛が出土した。酵素科学研究センター地点の調査でも同じ時期の灌漑用水路が発見され、徳島県最古の資料として評価された。いずれも弥生時代前期の新資料であり、これらの報告内容をみると、蔵本キャンパスが徳島県における弥生時代前期の中心地帯であったことがあらためて実感される。今回報告する資料はもとより、これまで15次にわたる調査によって出土した資料は、各方面で第一級の文化財として高い評価を受けていると聞いている。これらの成果が学術報告書として刊行できる運びになったことは我々にとって大きな喜びである。

学内における埋蔵文化財の調査に関しては、その方式や体制をめぐり試行錯誤を続けてきたが、武田克之前学長をはじめとする関係者のご努力のおかげで、平成４年に全学の委員会として埋蔵文化財調査委員会が発足し、同委員会のもとに埋蔵文化財調査室が設置されることになった。研究室は医学部附属病院構内に設けられ、当初は1名の専従職員を置いて出発したが、その後、学内の再開発が本格化したのに伴い職員の増員がはかられた。

医学部附属病院の再開発のため、現在、新病棟の建築工事が急ピッチで進められている。しかし計画全体からみれば、まだ最初の段階にすぎず、今後も埋蔵文化財に対する保護対策は不可欠である。本学としても、再開発計画との調和を保ちつつ、これからの調査が円滑に行なわれるように支援したいと考えている。

おわりに、徳島大学埋蔵文化財調査室の設置までの間、献身的にご尽力いただいた岡内三眞早稲田大学教授（当時総合科学部教授）、ならびに初代調査室長としてご苦労いただいた東潮総合科学部教授に感謝申しあげる。

平成10年1月28日

徳島大学長
徳島大学埋蔵文化財調査委員長
齋　藤　史　郎

例　　言

1　本書は徳島市庄遺跡の徳島大学構内地区（庄・蔵本遺跡）に対して徳島大学が実施した埋蔵文化財発掘調査の報告書第１巻である。調査地の地籍については各章の文中に示した。

2　本書に収録したのは青藍会館地点（第６次調査）、長井記念ホール地点および薬学部実験研究棟地点（第８次調査）、医療技術短期大学部校舎増築地点（第９次調査）、酵素科学研究センター地点（第10次調査）において実施された調査結果である。

3　調査の担当者は第６次調査が岡内三眞（当時徳島大学、現早稲田大学）・河野雄次（当時徳島大学、現板野町教育委員会）、第８次調査が岡内三眞、第９・10次調査が東潮・北條芳隆である。

4　本書で使用するレベル高は海抜を示し、方位は磁北を示す。

5　遺物の整理・復元・実測作業は徳島大学埋蔵文化財調査室にて実施し、北條芳隆、中村豊、山本愛子、上田淑子、岸本多美子、原多賀子、安山かおりが主に担当したほか、河野雄二（1986年５月まで）、北條ゆうこ（1996年３月まで）、井本尚子（1997年９月まで）が各在職中に担当した。

6　石器石材の鑑定は石田啓祐氏（徳島大学）によるものである。

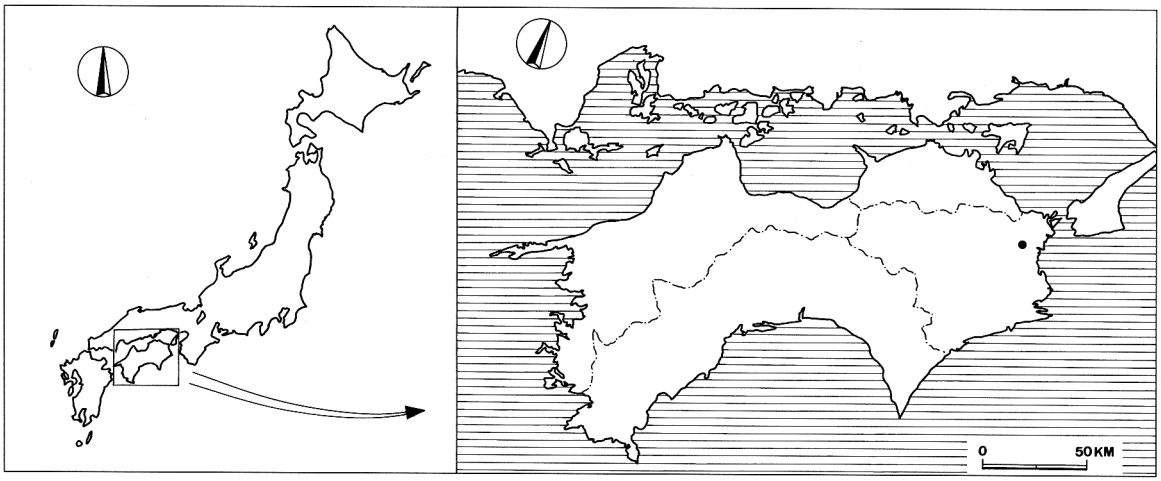
7　図面の製図は山本愛子、岸本多美子、上田淑子が担当した。

8　本書の写真撮影は各調査担当者が実施した。遺物の写真撮影は中村豊が主に担当し、一部を北條芳隆が分担した。

9　本書の執筆は岡内三眞、河野雄次、北條芳隆、橋本達也、中村豊が分担した。それぞれの分担は目次に示す。

10　本書の編集は東潮の助言のもと北條芳隆が行った。

11　本書に収録した資料は徳島大学埋蔵文化財調査室で保管している。



庄・蔵本遺跡の位置

謝　　辞

本書掲載の各調査および整理に際しては多数の方々にお世話いただいた。

第９次調査の際には福家清司氏（徳島県教育委員会）、菅原康夫・久保脇美朗・湯浅利彦の各氏（徳島県埋蔵文化財センター）、佐原眞氏（国立歴史民俗博物館）、から有益な御教示、御指導を賜った。また木製品の発見時には上原真人氏（当時奈良国立文化財研究所、現京都大学文学部）を煩わせた。

第10次調査の際には松永住美氏（徳島県教育委員会）、久保脇美朗・氏家敏之・栗林誠治の各氏（徳島県埋蔵文化財センター）、勝浦康守氏（徳島市教育委員会）、井上智博氏（大阪文化財研究センター）から、調査の方針等にかんするご教示を賜った。また日下雅義氏（徳島文理大学文学部）、平井松午氏（徳島大学総合科学部）からは地層の堆積状況にかんする歴史地理学の分野からの貴重な助言を賜り、外山秀一氏（皇學館大学文学部）にはプラントオパール分析を快諾いただいた。加えて人骨や歯の鑑定にあたっては、石村和敬氏（徳島大学医学部）、石塚寛・樋浦明夫の両氏（徳島大学歯学部）にご協力をいただいた。

整理作業にあたっては、土器類の位置づけや評価にかんし、下条信行氏（愛媛大学法文学部）、田崎博之・吉田弘氏（愛媛大学埋蔵文化財調査室）、木村早苗氏（旧姓西岡、元徳島県埋蔵文化財センター）、近藤玲氏（徳島県埋蔵文化財センター）、大久保徹也・森下英治の両氏（香川県埋蔵文化財センター）梅木謙一 氏（松山市埋蔵文化財センター）、家根祥多氏（立命館大学文学部）、濱田延充氏（寝屋川市教育委員会）、田畑直彦氏（山口大学埋蔵文化財資料館）、前田佳久・丹治康明両氏（神戸市教育委員会）、出原恵三氏（高知県埋蔵文化財センター）にお世話いただいた。石器類については禰宜田佳男氏（当時大阪府立弥生文化博物館、現大阪府教育委員会）に類例等のご教示をいただき、石材鑑定は石田啓祐氏（徳島大学総合科学部）を煩わせた。木器類については古瀬清秀氏（広島大学文学部）、扇崎由氏（岡山市教育委員会）、中野宥氏（静岡市登呂博物館）に資料調査の便宜をはかっていただいた。木製品類の保存処理については天羽利夫、魚島純一両氏（徳島県立博物館）に多大なご援助を賜った。

本書掲載の各調査および報告書の作成にあたり、お世話になった関係諸機関は次のとおりである。徳島県教育委員会、徳島市教育委員会、徳島県立博物館、財団法人徳島県埋蔵文化財センター、大阪府立弥生文化博物館、大阪大学文学部考古学研究室。広島大学文学部考古学研究室。

上記の方々や諸機関に深く感謝申し上げる。

目　　次

序章　既往の調査と調査体制の推移 ..... 北條芳隆 1
第１節　既往の調査 1
1　概要 1
2　既往の調査成果 3
第２節　徳島大学埋蔵文化財調査委員会･同調査室の設置 5
1　委員会規則と調査室要項の策定 5
2　調査体制の整備 8

第１章　遺跡の立地と環境 11
1　遺跡の名称と立地 ..... 北條芳隆 11
2　周辺地域の歴史的環境 ..... 岡内三眞・北條芳隆 .. 11

第２章　第６次調査の記録 15
第１節　調査の経過と概要 ..... 河野雄次・北條芳隆 .. 15
1　調査にいたる経緯 15
2　調査組織 15
3　調査の目的と方法 15
4　調査経過 16
第２節　調査の記録 16
1　基本層序と遺構の概要 ..... 北條芳隆 16
(1)　検出遺構 16
(2)　基本層序 17
2　弥生時代前期の遺構 ..... 北條芳隆 17
(1)　弥生時代前期の埋葬 17
(2)　土坑 29
3　弥生時代中・後期の遺構 30
(1)　溝 30
(2)　土坑 34
4　弥生時代の遺物 36
(1)　弥生時代前期の土器 ..... 中村　豊 36
(2)　弥生時代中･後期の土器 ..... 北條芳隆 38
(3)　弥生時代の玉類･石器類･鉄器類 ..... 橋本達也 44
5　古墳時代・歴史時代の遺構 ..... 北條芳隆 47
(1)　古墳時代の遺構 49
(2)　古代の遺構 51
(3)　中世の遺構 52
6　古墳時代・歴史時代の遺物 52
(1)　遺構出土の遺物 ..... 橋本達也 52
(2)　包含層出土遺物 54
(3)　中世の遺物 ..... 北條芳隆 54
第３節　調査成果のまとめ ..... 河野雄次 54

第３章　第８次調査の記録 56
第１節　調査の経過と概要 ..... 岡内三眞・北條芳隆 .. 56
1　調査にいたる経緯 56
(1)　長井記念ホール建設予定地 56
(2)　薬学部実験研究棟建設予定地 56
2　調査の目的 57
3　調査経過 57
(1)　長井記念ホール建設予定地 57
(2)　薬学部実験研究棟建設予定地 57
第２節　調査の記録 ..... 岡内三眞・北條芳隆 .. 58
1　基本層序 58
2　遺構と遺物 59
(1)　遺構 59
(2)　遺物 59
3　調査成果のまとめ ..... 岡内三眞 59

第４章　第９次調査の記録 60
第１節　調査の経過と概要 ..... 北條芳隆 60
1　調査にいたる経緯 60
2　調査組織 60
3　調査の目的と方法 60
4　調査経過 61
第２節　調査の記録 62
1　基本層序と遺構の概要 ..... 北條芳隆 62
2　弥生時代の遺構 ..... 北條芳隆 64
(1)　旧河道 64
(2)　土坑 68
(3)　住居 69
(4)　その他 70
3　弥生時代の遺物 71
(1)　弥生時代前期の土器 ..... 中村　豊 71
(2)　弥生時代中期の土器 ..... 北條芳隆 73
(3)　弥生後期および終末期の土器 75
(4)　弥生時代の石器類･玉類 ..... 橋本達也 75
(5)　弥生時代の木器･木製品 ..... 北條芳隆 77
4　古墳時代の遺構 79
(1)　井戸 79
(2)　溝1 79
5　古墳時代・古代の遺物 ..... 橋本達也 80
(1)　溝1上層・中層の遺物 80
(2)　溝1下層出土遺物 84
(3)　井戸出土の遺物 85
(4)　包含層出土の遺物 85
6　中・近世の遺構と遺物 ..... 北條芳隆 86
(1)　溝2 86

(2)　溝3 86
(3)　溝4 86
(4)　土坑６ 87
(5)　小土坑群 87
(6)　近世の遺物 87
第３節　調査成果のまとめ ..... 北條芳隆 87

第５章　第10次調査の記録 89
第１節　調査の概要 ..... 北條芳隆 89
1　調査にいたる経緯 89
2　調査組織 89
3　調査の目的と方法 90
4　調査経過 91
第２節　調査の記録 92
1　基本層序と遺構の概要 ..... 北條芳隆 92
2　弥生時代の遺構 ..... 北條芳隆 94
(1)　前期前葉の溝 94
(2)　前期後葉の杭列と立石 99
(3)　前期後葉の土坑と土器群･溝 101
(4)　中期後半の溝と土坑 101
(5)　時期不詳の竪穴と土坑 103
3　弥生時代の遺物 107
(1)　弥生時代前期の土器 ..... 中村　豊 107
(2)　弥生時代中期の土器および土製品 ..... 北條芳隆 109
(3)　弥生時代の石器 ..... 橋本達也 117
4　古墳時代の遺構 ..... 北條芳隆 117
(1)　中期の竪穴式住居 117
(2)　中期の井戸 118
(3)　時期不詳の建物および柱穴 120
(4)　時期不詳の竪穴および土坑 121
5　古墳時代の遺物 ..... 橋本達也 122
6　古代・近世の遺構 ..... 北條芳隆 126
(1)　古代の土坑 126
(2)　近世の溝 126
(3)　近世の木棺墓 128
7　近世の遺物 ..... 北條芳隆 130
(1)　墓の遺物 130
(2)　包含層中の遺物 130
第３節　調査成果のまとめ ..... 北條芳隆 131
(1)　弥生時代前期の灌漑用水路の発見 131
(2)　地形的環境の変化と土地利用 131

第６章　調査成果をめぐる諸問題 133
第１節　弥生前期集団墓の構造 ..... 北條芳隆 133
1　第６次調査地点の弥生時代前期集団墓 133

(1)　石材の配置状態から推定される木棺とその形態 133
(2)　棺蓋上や墓壙上に配された石材 133
(3)　特異な埋葬形態の石棺墓２ 134
(4)　庄･蔵本遺跡における諸形態の共存 134
2　愛媛県持田町３丁目遺跡との類似性 135
(1)　４種類の埋葬形態 135
(2)　四国の東西で共有された埋葬形態 135
(3)　埋葬姿勢にみる高度な類似性 137
3　管玉副葬の性格 138
(1)　副葬位置と副葬状態 138
(2)　副葬される管玉の数と状態 138
(3)　管玉副葬の意味 139
(4)　集団墓における管玉の分有関係 140
4　まとめ 140
第２節　作業用腰掛けの出現 ..... 北條芳隆 141
(1)　作業用腰掛けとみられる一群の存在 141
(2)　作業用腰掛けと原始機 143
第３節　弥生時代前期の土器について ..... 中村　豊 145
1　はじめに 145
2　弥生前期の土器編年 145
(1)　出土状況の検討 145
(2)　器種分類 146
(3)　各段階の説明 146
(4)　器種の変遷 147
3　第９次調査地点旧河道出土土器の分析 150
(1)　最古段階の検討 150
(2)　他地域の影響がみられる土器 151
4　まとめ 152
第４節　徳島における弥生時代の武器と戦いのはじまり ..... 橋本達也 153
1　はじめに 153
2　徳島における弥生時代の武器 153
(1)　石製刺突武器 153
(2)　磨製石剣 155
3　徳島における弥生の戦争とムラ・墓・まつり 155
(1)　環濠集落 155
(2)　武器をともなう墓 155
(3)　銅剣･剣形木製品 156
4　徳島における戦いのはじまり 157
第５節　古墳時代中期の徳島と庄・蔵本遺跡 ..... 橋本達也 159
1　はじめに 159
2　古墳時代中期以降の土器編年 159
3　古墳時代中期の埴輪 159
4　まとめ 162

挿 図 目 次

図１　徳島市庄・蔵本遺跡の位置 1
図２　既往の調査地位置図 2
図３　体育館地点 3
図４　動物実験施設地点 3
図５　病棟地点と共同溝地点 4
図６　埋蔵文化財調査室 10
図７　周辺地域の遺跡分布図 12
図８　調査地の位置 16
図９　弥生時代前期の埋葬風景 17
図10　調査区各所の堆積状況 18
図11　弥生時代前期の遺構配置 19
図12　石棺墓１・２ 22
図13　配石墓(1) 23
図14　配石墓(2) 24
図15　配石墓(3)・土坑２ 25
図16　配石墓(4)・土壙墓(1) 26
図17　土壙墓(2)・土坑(1) 27
図18　甕棺墓 29
図19　土坑(2) 30
図20　土坑５の状況 30
図21　弥生時代中期以後の遺構配置 31
図22　溝の状況 32
図23　溝７の状況 33
図24　溝５の全景 33
図25　溝７ 33
図26　土坑11・12の状況 34
図27　埋葬施設等出土土器 35
図28　甕棺 36
図29　包含層出土土器(1) 37
図30　溝4・5・6出土土器 38
図31　溝７出土土器(1) 39
図32　溝７出土土器(2) 40
図33　土坑12出土土器 41
図34　土坑10・11出土土器 42
図35　玉類・石鏃・鉄製品 43
図36　石器 45
図37　石棺墓３ 47
図38　石棺墓４ 47
図39　石棺墓3・4の状況 47
図40　土坑13・14等の状況 48
図41　柱穴の状況建物 49
図42　建物1・2の状況 50
図43　建物1・2 51
図44　建物1 51
図45　土壙墓7・8の状況 52
図46　建物・柱穴・土坑出土土器 52
図47　包含層出土土器(2)・土製品 53
図48　調査風景 55
図49　調査風景 55
図50　調査地の位置 56
図51　調査区の配置 58
図52　基本土層の状況 58
図53　調査地の位置 60
図54　調査地の状況 61
図55　調査風景 61
図56　基本土層と遺構 62
図57　調査区各所の堆積状況 63
図58　弥生時代前期の遺構配置 64
図59　旧河道の堆積状況 65
図60　旧河道の矢板・杭列 66
図61　旧河道の断面 66
図62　旧河道の矢板列（東側） 66
図63　旧河道関連遺物出土地点 67
図64　弥生時代中期以後の遺構配置 68
図65　土坑１の遺物 69
図66　土坑１ 69
図67　土坑２ 69
図68　住居の状況 70
図69　住居 70
図70　旧河道出土土器(1) 71
図71　旧河道出土土器(2) 72
図72　土坑１出土土器 73
図73　諸遺構出土土器 74
図74　包含層出土土器 74
図75　石器類・玉類 76
図76　腰掛け 77
図77　丸木杭・矢板 78
図78　井戸 80
図79　溝１の状況 81
図80　溝１ 81
図81　溝１ 81
図82　溝１ 81
図83　溝１出土土器(1) 82
図84　溝１出土土器(2) 84
図85　土坑6の堆積状況 86
図86　近世の遺物 87
図87　調査地の位置 90
図88　調査風景 91
図89　調査区各所の堆積状況 93
図90　基本層序と遺構 94
図91　弥生時代前期前葉の遺構配置 95
図92　溝１・溝２の状況 96
図93　溝２の堆積状況 97
図94　弥生時代前期後葉の遺構配置 98
図95　立石の状況 99
図96　土坑１・2、土器群No.1・2の状況 100
図97　弥生時代中期以後の遺構配置 102
図98　溝７の状況 103
図99　建物２、竪穴３、土坑８等の状況 104
図100　竪穴１・2、土坑10・11等の状況 105
図101　土坑５・６・７等の状況 106
図102　溝１・2出土土器 108
図103　土坑１・2・3出土土器 109
図104　包含層出土土器(1) 110

図105　溝７出土土器 111
図106　土坑５出土土器 112
図 107　土坑7・9出土土器 113
図108　竪穴1・2、土坑８出土土器 114
図109　紡錘車 114
図110　包含層出土土器(2) 115
図111　石器 116
図112　住居１の状況 118
図113　井戸１に状況 119
図114　井戸2・3の状況 120
図115　建物１の状況 121
図116　住居１出土土器 122
図117　井戸１出土土器 123
図118　井戸２出土土器 124
図119　井戸３出土土器 125
図120　土坑23の状況 126
図121　近世の遺構配置 127
図122　近世墓の状況 128
図123　近世墓の遺物 129
図124　近世・近代の遺物 130
図125　第９次調査地点出土腰掛け 142
図126　弥生時代前期土器編年 148
図127　搬入された可能性がある土器 150
図128　朝鮮無文土器類似の土器 151
図129　庄・蔵本遺跡出土の石製刺突武器 154
図130　徳島における武器形祭器 156
図131　庄･蔵本遺跡出土の弥生時代戦争関連遺構･遺物 ...157
図132　徳島における古墳時代中期以降の土器編年 160

表　目　次

表1　既往の調査一覧 2
表2　常三島遺跡における既往の調査一覧 9
表3　青藍会館地点埋葬施設一覧 20
表4　玉類一覧表 43
表5　石鏃一覧表 44
表6　持田町３丁目遺跡における弥生時代前期埋葬一覧 136
表7　各地出土の刳物腰掛 143
表8　第９次調査地点旧河道出土土器の分析 150
表9　第９次調査地点旧河道出土土器胎土肉眼観察表 151

巻末図版目次

図版１　第６次調査
弥生時代前期の埋葬（東より）、弥生時代中期以降の状況（東より）
図版２　第６次調査
石棺墓１・２（東より）、配石墓１・２（東より）、配石墓１（東より）、配石墓５（東より）
図版３　第６次調査
石棺墓１（北より）、配石墓２（南より）、配石墓６（北より）
図版４　第６次調査
配石墓７（北より）、配石墓12（北より）、土壙墓３（北より）
図版５　第６次調査
配石墓２、土壙墓５、土坑５、石棺墓２、不明遺構１、包含層
図版６　第６次調査
甕棺蓋、甕棺身
図版７　第６次調査
溝７
図版８　第６次調査
溝７
図版９　第６次調査
土坑２
図版10　第６次調査
玉類・石鏃・鉄製品、土錘、石器
図版11　第９次調査
旧河道（東より）、旧河道河床部（北より）、旧河道矢板列　西側
図版12　第９次調査
溝１（西より）井戸（東より）、土坑３（北より）
図版13　第９次調査
旧河道、土坑１
図版14　第９次調査
溝１
図版15　第９次調査
溝１、井戸、土坑４、包含層
図版16　第９次調査
石器１、石器２
図版17　第10次調査
溝１、溝２（西より）、溝１（東より）
図版18　第10次調査
立石No.1（南より）、立石No.2（南より）、立石出土状況（東より）、立石出土状況（南より）
図版19　第10次調査
土坑８（南より）、井戸２（南より）、井戸３（南より）
図版20　第10次調査
近世の溝(西より)､木館墓(南より)､木館墓(西より)
図版21　第10次調査
溝１、包含層
図版22　第10次調査
包含層、土坑２、土坑３、住居１
図版23　第10次調査
竪穴１、土坑５、包含層
図版24　第10次調査
井戸１
図版25　第10次調査
井戸１、井戸３
図版26　第10次調査
石器１、石器２・土製品